

緩和ケアチームの社会福祉士等(ソーシャルワーカー)育成

現状と課題

- 緩和ケアに専門性の高いソーシャルワーク実践に必要な知識・技術が不明瞭
 - 緩和ケアに特化した研修の機会が非常に少ない
- ⇒ 研修の機会を創出し 充実させることが急務

緩和ケアソーシャルワーク スキルアップセミナー 2006～2015 全国13箇所 (日本ホスピス緩和ケア研究振興財団 研究助成)

目的：緩和ケアに専門性の高いソーシャルワーカーの実践力を高める

対象者所属：緩和ケアチーム、がん相談支援センター、緩和ケア病棟、在宅療養支援診療 他

概要：緩和ケア、精神腫瘍の講義+ 模擬事例をもとに場面設定し演習

(グループディスカッション・予備的共感ワーク・ロールプレイ・PST他)

参加者アンケート実施：緩和ケアにおけるソーシャルワーカーに必要な実践力とは

患者を中心とした意思決定支援

厳しい状況における患者とのコミュニケーション、面接力

未完の仕事への支援、単身者の看取りの支援

家族の支援、遺族の支援、

チームビルディング・医療チームとの協働

地域連携

(7の主要実践力と16の具体)

4章16節へ

緩和ケアにおけるソーシャルワークの手引き 2018



MSWセミナー （日本ホスピス緩和ケア協会）2006～

目的：緩和ケア領域の専門性が高いソーシャルワーカーの養成・支援

対象者所属：会員施設；緩和ケア病棟・緩和ケアチーム・在宅療養支援診療所

概要：事例検討 アセスメントのグループワーク

相談援助・カンファランス・連携等 実際場面のロールプレイ

2015～「患者家族の思いをつなぐ連携」

3年コースで 価値倫理・意思決定支援・ネットワーク構築

緩和ケアにおけるソーシャルワーク：いのちに向き合う（日本医療社会福祉協会）2012～

目的：患者・家族の感情(怒り・悲嘆)とスピリチュアルな苦悩に向き合い 支える力を高める

対象者所属：緩和ケアチーム・がん相談支援センター・緩和ケア病棟・一般病棟・在宅医療機関

概要：事前自己学習レポート + 研修会（死生学講義 + 演習：自己洞察ワーク
相談ロールプレイ）

緩和ケアチームの社会福祉士(ソーシャルワーカー)育成のために取り組むべきこと

- ・緩和ケアに専門性の高い実践のための必須実践力をさらに明確にし 普及させる
- ・実践的な教育プログラムを構築し専門性を高める
- ・緩和ケアチーム多職種との協働の機会を整備する(環境・体制づくり)
- ・チーム力を高める多職種研修の機会